

畑にはまだ雪が残るが、私たちは春を肌で感じるようになった今日この頃、皆さんお元気でお過ごしでしょうか？

四月は大人も子どもも、忙しい時期ではないでしょうか？ 特に子どもたちは、環境の変化に左右されながら頑張っていますので、私たち大人がしっかり見守って適切なサポートをしていかなければなりません。

3・11 東日本大震災から13年が経ちます。いまだに避難や自宅に戻れない人々が大勢います。はじめのいっぽでも避難訓練を通して、防災の重要性を子どもたちと勉強しています。先日も救急救命の講習会を実施し、万一来て備えてAEDを設置したところです。

「幸せの輪」ある若者が、汽車に乗って小さな旅をした時のことです。車掌さんが切符を拝見と回ってきた時、切符を見せようとしたが見当たらないどこかで落としたのだ。若者はそのことを正直に車掌さんに言った。「すみません。今日帰宅したら駅で必ず支払いますから」とすると隣にいた初老の男性が無言で何かを差し出した、目的地までの回数券だ。お礼をしたいと言ったが男性は笑顔で手を振るだけだ。「せめてお名前でも」と懇願すると笑顔の先に意外な過去を語り出した。その男性も以前、居合わせた若者にお金を出してもらった事があるそうだ。そしてその時、若者はこう言ったという。「今おじさんがオレにお金を返したら、オレとおじさんの間の親切で終わってしまいます。同じように困った人を見かけたら、その人を助けてあげて下さい。そしてひとつの親切がずっと輪になって大きく広がりますから。」しみじみと語った男性の横顔を映す窓の景色は変わっていた。

情けは人の為ならず、人に対して情けをかけると巡り巡って自分に良い報いが返ってくるという意味だが、親切の輪は私に受け継がれた。そして、私は大学生の夏に、ある町で急病の旅行者を救い、幸せの輪は、この旅行者に受け継がれた。この出来事から既に20数年がたつ。汽車の若者から始まった「幸せの輪」は今、どこまで広がっているだろうか？ 私たちも困った人を見かけたら迷わず助けたいものだ。



代表 石橋 和久

4月のスケジュール

日時	行事
3月25日～4月7日	春休み
4月15日(月)	定例会議
4月25日(木)	あっちこっち紙芝居
4月29日(月)	昭和の日

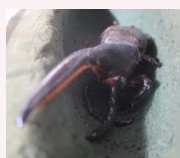
小中学生編



子どもたちも学校で使っているイスと机は落ち着くようです。



いっばに来て7年ほどなるこのテーブルは、いっばのシンボルなのかもしれません。



大切に、日常使っているいっばの備品にはいろんな思いが詰まっています。帯広6中が閉校になるとき、むくの木の風合いが心地いいと学校イス4の脚と机9脚を創業者のわかこ子先生が譲り受け、結が立ち上がった時にリペア修理をして今では子どもたちの宿題の場所や、時にはイベントで大活躍のイスと机です。また弥生にある大きな丸テーブルもわかこ先生の思いが詰まったテーブルです。180cm直径のテーブルは特注品です。この大きなテーブルに集まると誰もが等しく話そうと出来るようになり、仲間がいることを実感できる魔法の様なテーブルです。子どもだけでなく、“大人も周りに集まると大きなまーるい“気持ちになれます。

「ただいまー」のすぐ後に、学校での出来事を思う存分話したり、お手伝いの出来るキッチンカウンターや、友達同士でゴロゴロできる畳のやわらかさ、あたり前のように使っている物にも大切な役割を感じます。子どもたちが大きくなったとき、この大きなテーブルがどのくらい大きさにうつるのか聞いてみたいものです。

何気ない日々の積み重ねは、こだわりを持った物に助けられていることをしみじみと感じ、物を大切にすることは思いを大切に伝えることなんだと3月の写真を見ながら思うのでした。



日本分県大地図も大切な思い入れの備品です



カウンターはおしゃべりの場所そしてお手伝いの場でもあります。



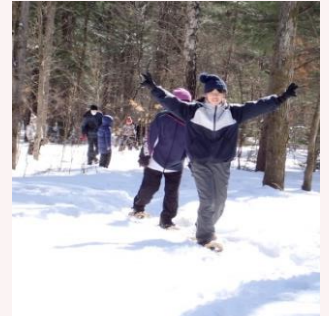
救急対応訓練



防災対策や災害時の話し合いの訓練はしていても、救命処置に対してのスキルはなかなか触れる機会がないとの想いから、3月4日帯広消防署救急課の講師を招いて、心肺停止、誤嚥、外傷それぞれの対応を指導いただきました。初動対応の大切さを学び、はじめのいっばでもAEDを3月18日より結の南玄関へ設置の運びとなりました。



3月の日常ショット



はぐくむスノーシューティング 春を発見できるかな？



ソリの立乗りが流行りました。



スタッフも参加のハンター鬼ごっこ

広場のソリ山はカーブが付いています。コースアウトでジャンプ!



途別の冬遊びもあともう少しで終わりになります。思う存分遊びました!



あっちこっち紙芝居は毎月実施しています。子どもたちはいつも真剣な眼差しを向けています。



制服姿を見ると卒業式の季節を感じます。



おてつだいそのものも大切な活動ですがもっと大切なのは子どもたちとの会話です。子どもの心のあり様が良く見えてきます。



いっば卒業のお友だち



3月でいっばを卒業するともき君・あゆむ君・はると君、それぞれ小学校卒業であったり、家族の転勤であったりと色々ですが、いっばはいつでも君たちが遊びに来れる場所です。待ってるよ!



3がつ28にち河川敷の土手には春のはじまりふきのとうが雪のすぐ脇から芽吹いていました。さァ新しい学年の始まりだ!

ひつじ組 編 (未就学児)



沢山の雪に恵まれた年だったと思います。思う存分雪遊びをすることができました。そり滑りで何度も雪山に登り体力がつかしました。一緒にそり滑りをして、もっと仲良くなりました。



まもなく雪の季節は終わってしまいますが、また次の季節には次の季節の発見があるはずです！

あ！早速雪の下から何かを発見したようです。→



8月いっば祭り参加
ありがとうございました。



入ったころは、みんなと一緒に座ってられなかったお友達も、今では“みんなと何かをする”ということがすっかり定着し、一緒に絵本を広げたり、かくれんぼ(ルールはそれぞれのルールなので、おにが戸を開けようとしても、「あけちゃだめ!!」と手で押さえてしまうお友達もおります(笑))・・・

今年度で二人のお友達が、保育園・幼稚園へ旅立っていきます。小さな集団で培った逞しさを、今度はもう少し大きな集団で発揮して行ってほしいと思います。

そして、5月には羊の赤ちゃんが生まれていると思うので、遊びがてら見に来てほしいと思います。はじめのいっばは退所をしても、いつでも来ていい場所として、覚えていてくださいね。



一年間ありがとう！
卒業のお友だちも、これからも
いっばを利用の
お友だちもみんなが
楽しい笑顔の絶えない
新しい学年を
過ごせますように・・・
ひつじ組の先生より